

# 図書館だより

No.56

令和6年4月号

【4・7・10・1月発行】

発行：入間市立図書館  
 本館 04-2964-2415  
 西武 04-2932-2411  
 金子 04-2936-1811  
 藤沢 04-2966-8080



図書館 HP は  
こちらから

## ～障害者サービスのご案内～

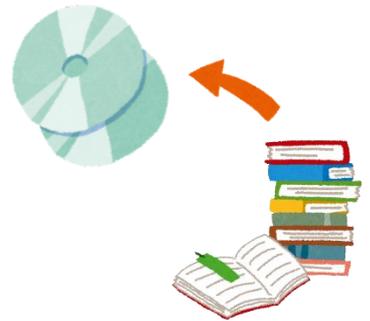
図書館では高齢者の方や目の不自由な方にも読書を楽しんでいただくために、障害者サービスを行っています。身の回りに障害者サービスを必要としている方がいましたら、ご案内いただくと幸いです。

★がついているサービスをご利用の際は、視覚障害者利用登録が必要です。登録の対象者は、入間市、所沢市、飯能市、狭山市、日高市、青梅市に在住で、視力に障害がある方になります。登録の際には、身体障害者手帳をお持ちください。代理の方による申請も可能です。

### ★デージー図書の貸出

デージー図書とは、Digital Accessible Information System の略で、本を音声化したものです。見た目は CD と同じですが、音声の再生には専用の機器が必要になります。専用の機器の貸出も行っています。パソコンでの再生も可能です。

入間市立図書館に所蔵がない資料でも、全国の図書館等から取り寄せて、利用することができます。



### ★録音テープ図書・点字図書の貸出

図書を朗読してカセットテープに吹き込んだ録音テープ図書や、指で紙面上の凹凸を読む点字図書を利用することができます。

※1回につき10タイトルまで、1カ月間貸出が可能です。



### ★対面朗読

図書館の本、雑誌、新聞などを音訳者が対面で朗読します。7日前までに予約が必要です。1回につき2時間までとなります。対面朗読を行う場所は、西武分館、健康福祉センター、市民活動センター（イルミン）になります。

### ★「タウンインフォメーション」の定期郵送サービス

「タウンインフォメーション」とは、生活に関することや入間市周辺の地域のニュースや情報等を音訳して吹き込んだ音録 CD 図書です。毎月作成し、希望する方に郵送します。

### ★視覚障害者用図書作成サービス

入間市およびほかの図書館で所蔵のない録音資料（デージー図書）、点字資料はできる限り作成して、提供します。

音声資料の作成や対面朗読では、入間市朗読ボランティアグループ「はづき」の皆様、点字図書の作成では、点訳入間六ツ星会の皆様にご協力いただいています。



◎視覚障害者利用登録をしなくても利用できるサービスもあります。

### ・LLブックコーナー（本館）

「LLブック」とは、本を読んだり、本の内容を理解することが苦手な人のために、写真や絵、ピクトグラムなどを使って、内容がわかりやすく書かれた本です。

### ・大活字本・朗読CDの貸出

大活字本とは、視力の弱い方向けに大きな活字で書かれた本です。様々なタイトルをご用意しています。

朗読CDとは、朗読で様々な名作を楽しめる「聞く読書」です。

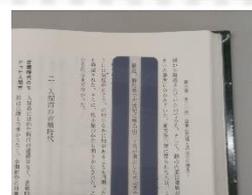


### ・拡大読書機の設置

本館・西武分館には、文字や写真など見たいものを拡大してモニターに映し出す機械があります。約2から60倍の倍率で映し出すことができます。金子分館には机に固定されているタイプの拡大読書機があります。全館には手に持って使用するタイプの拡大鏡があります。

### ・リーディングトラッカーの設置

ディスレクシアのある方や視覚障害のある方の読書をサポートする道具がリーディングトラッカーです。1行に集中できなかつたり、同じ行を何度も読んでしまつたりする悩みを解決します。ご利用の際はカウンターへお声がけください。館内のみでの利用になります。



## 読み聞かせボランティアグループの広場

図書館で活動している、読み聞かせボランティアグループの **どんぐり**（本館）・**かざぐるま**（西武分館）・**おはなしまどか**（西武分館）・**茶の花**（金子分館）・**トトロ**（藤沢分館）です。

各グループより、最新情報をお届けします。

**どんぐり** 1月、2月の定例会では、読み聞かせのすすめ（1月）、科学絵本のすすめ（2月）の研修会に各館ボランティアの方々と参加しました。初心にかえり、本の持ち方や開き方など再確認しました。また、科学の絵本では日常にある自然の大切さや良さを感じました。これからの読み聞かせに活かしていきたいと思います。土曜日、日曜日、火曜日のおはなし会とともに少しずつ定着してきました。楽しい本と出合ってください。

**かざぐるま** 定例のおはなし会では、絵本の読み聞かせのほかに、手遊びやゲームなど、参加者と声を出したり、触れあつたりする機会も増えてきました。今年度もいろいろなイベントも企画しています。皆様いらしてくださいね。

**おはなしまどか** 西武分館第1土曜日のおはなし会では、『だんごころころ』『いたずらぎつね』のおはなし、『干支のはじまり』はピクチャーボックスで、新聞紙を使ったおはなしや手品など、語りと組み合わせ楽しんでいただきました。ぜひまたどうぞ。

4月12日（金）13時30分から15時まで、西武分館で「おとなのためのおはなし会」を行います。『山の上の火』『だってだってのおばあさん』など、絵本や童話の読み聞かせをします。こちらもぜひお越しください。

**茶の花** おはなし会にお父さんの参加が見られます。育児を楽しんでいるご様子で、おうちでお子さんに絵本を読んでいる姿が浮かんで、ほほえましく思いました。

読み聞かせにもおすすめの本を紹介します。『あな』（谷川俊太郎作、和田誠画、福音館書店）です。

穴を掘ったことはありますか。この絵本は、深い穴の中に座り込んで、そこから空を見ている気持ちになる絵本です。掘っている最中の家族との会話、特に父親との会話が素敵です。『あな』、親子で読んでみてください。

**トトロ** トトロでは「おはなし会」や「おたのしみ会」に参加できる仲間を絶賛募集中です。読み聞かせに興味のある方、子どもたちの笑顔に会いに来ませんか。絵本の奥深い世界にも遭遇できますよ～。

ぜひ藤沢分館にご連絡ください。お待ちしております。



# 大人のためのBookガイド

～図書館職員のおすすめ本を紹介します～



## 『三淵嘉子と家庭裁判所』

清永 聡／編著 日本評論社 《289. 1/ミ》

今春のNHK連続テレビ小説の題材となった三淵嘉子さん。三淵さんは、女性差別がまだ根強く残る昭和時代に、法曹界で初の女性法律家として道を切り拓きました。

本書では、三淵さんの生い立ちや、ゆかりのある人々の証言に加え、自身も創設に関わり尽力した家庭裁判所での様子が描かれています。ジェンダー平等や多様性が叫ばれる今、いろいろと考えさせられる1冊です。



## 『ユートロニカのこちら側』

小川 哲／著 早川書房 《913. 6/オガワ》

実験都市アガスティアリゾート。ここでは日常生活の全てが記録され全ての個人情報を提供する代わりに、働く必要もなく、好きなことをして暮らすことができます。楽園のような場所ですが、一方で人工知能が犯罪を起こす可能性のある人間を予測してリストアップし、リストに上がった人間はカウンセリング施設に入れられるか、拘束されるなどして隔離されてしまう場所でもありました。そんな世界で生活している、自由を求める人々を描いた物語です。

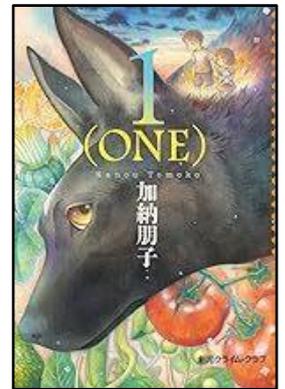
## 『1 (one)』

加納 朋子／著 東京創元社 《913. 6/カノウ》

私だけのわんこが欲しかった。世界でただ1匹の、私のことが一番好きなわんこに出会いたかった…。

大学生の玲奈は、趣味も特技も親友さえも何ひとつ持っていないことに悩んでいました。そんな時、子犬を飼い始めたことで憂鬱な日常が一変します。日々のちょっとした謎が解き明かされていく中で、その時々にあふれてくる親子の絆や信頼、犬から人への愛情や勇気に心が揺すぶられます。

『ななつのこ』から始まる〈駒子〉シリーズ、20年ぶりの新作！



## 『機工審査官テオ・アルベールと永久機関の夢』

小塚原 旬／著 早川書房 《913. 6/コスカ》

この物語の舞台は18世紀。とある公国の司教区では、夢の動力である永久機関をうたった発明詐欺が横行していました。主人公テオ・アルベールの父親は、かつて永久機関を考案していましたが、詐欺師の濡れ衣を着せられ処刑されてしまいます。機工審査官となったテオは、父親が追い込まれてしまった真相、そして真の永久機関にたどり着くことはできるのでしょうか。

第13回アガサ・クリスティ賞優秀賞受賞作。



新着資料もたくさんあります。各館の新着コーナーをご覧ください！  
新刊だけでなく、寄贈でいただいた資料なども並びます。

# こむすっく 子ども向けBookガイド

～図書館職員のおすすめ本を紹介します～

## 『わたしのすみか』

イザベル・シムレール/文・絵 石津 ちひろ/訳 岩波書店 《い3》

ちきゅうには、さまざまないきものがくらしています。わたしたちにいえがあるように、いきものたちにもすてきなすみかがあるのです。いったいどんなばしょにすみかをつくるのでしょうか。27しゅるいのいきものたちが、じまんのすみかをとくべつにみせてくれるそうです。ページをめくって、うつくしいいきものたちのせかいへでかけましょう。



## 『春の室内あそび・外あそび きせつをかんじる! 12か月のぎょうじ』

田村 学/監修 ほるぷ出版 《750》

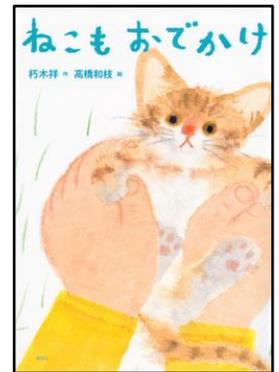
ぽかぽか暖かい春がやってきました。皆さんは春といえば何を思い浮かべますか? この本は、春にぴったりなあそびがたくさん紹介されています。お外であそぶのもよし。お部屋の中であそぶのもよし。そして、ひなまつりやこどもの日など、春の行事についてもくわしくなれる1冊です。さあ、春をあそびつくそう!



## 『ねこもおでかけ』

朽木 祥/作 高橋 和枝/絵 講談社 《913/くつき》

小学生の男の子、信ちゃんはある日公園で捨てねこをひろいました。茶トラ模様のその子ねこは「トラノスケ」と名付けられ、信ちゃんのおうちで暮らすことになります。トラノスケが家族の仲間入りをした日から、大きなラブラドルの愛犬ダンの様子に変化が…。そしてトラノスケも成長するにつれて、不思議な行動をするようになります。動物を飼っている人、これから飼ってみたいと思っている人にオススメのあたたかいお話です。ねこと仲良くなれるまめ知識つき。



## ティーンズ向け

### 『なんでファラオは男なの? 古代エジプト女王の源流を探す旅』

山花 京子/著 近藤 圭恵/画 新泉社 《Y 242》

中学1年生の佐藤美羽は、留学生が集まる日本語サークルで知り合ったエジプト人のヤasmineに誘われ「アラブ・チャリティーバザー」に参加します。そこでエジプトの文化にふれた美羽は、家族や周囲の人たちからの薦めもあり、一人でエジプトへ行くことに。女性として初のファラオ(王)となった『ハトシェプスト』について調べることにした美羽は、日本人考古学者のハトラ先生とともに、歴史の謎をひも解いていきます。考古学の面白さがぎゅっとつまった1冊。美羽の心の成長にも注目です!

